

Ⅲ. 第 19 期連合運動の基軸

1. 第 19 期を迎えるにあたって

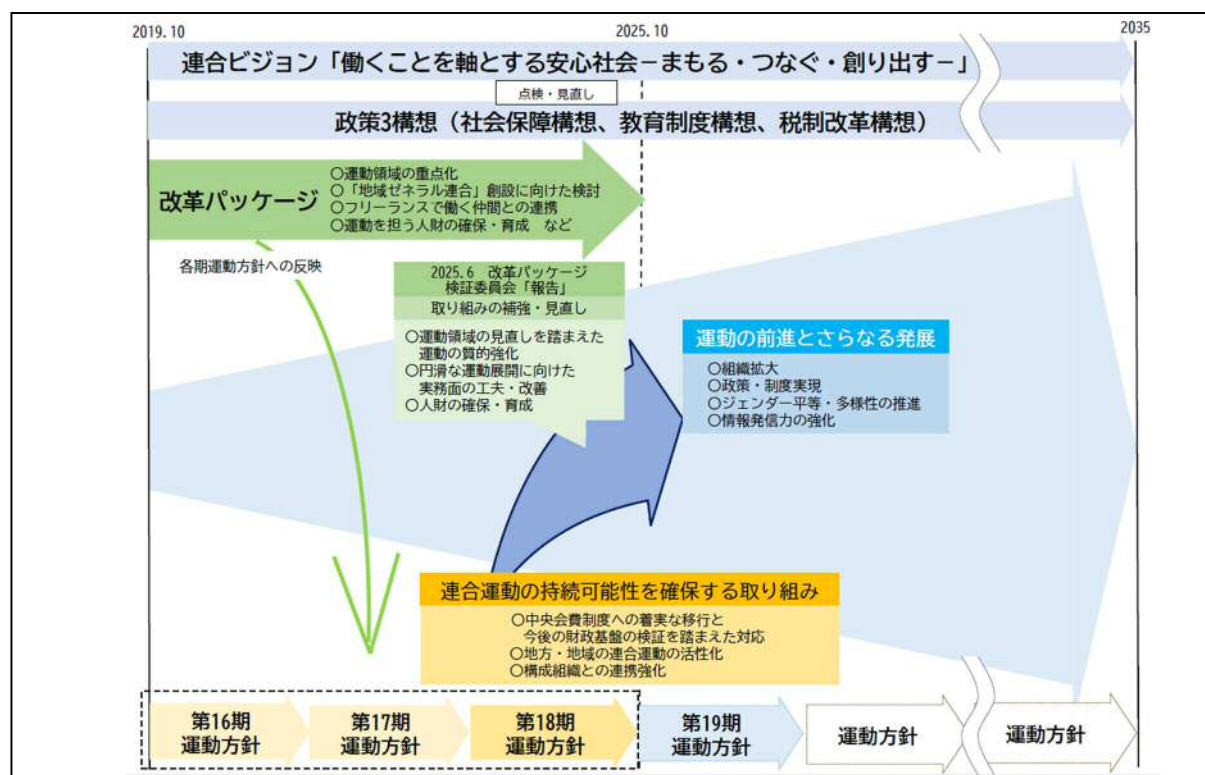
- 社会経済が大きな転換点にある今だからこそ、働くということに最大の価値を置きつつ、自立し、支え合い・助け合い、誰もが幸せを享受できる社会の実現に向け、私たちは連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の価値観や込めた思いを改めて認識し、運動を前進させなければなりません。とりわけ、労働組合としての社会的責任を踏まえ、社会の様々な不条理に対して声を上げ、すべての働く仲間の雇用とくらしを守る行動を積み重ねていくことが重要です。
- 第 19 期においては、これまで 3 期にわたり取り組んできた「連合運動の持続可能性と発展性を支え得る方策」の具体化を基盤に、政策・運動の両面から、取り組みを前進・加速させ、さらなる発展につなげる 2 年としていきます。あわせて、労働組合の存在意義や連合運動の価値を広く発信していきます。

2. 私たちがステージを変える～安心社会に向けて 果敢にアクション～

- 第 19 期はまさに私たちがステージを変えるとの強い決意のもと、組織拡大やジェンダー平等・多様性推進、政策制度の実現をはじめとする連合運動の根幹となる様々な取り組みを確かなものにしていくことが必要です。連合運動の持続可能性の確保に向けたこの間の取り組みを土台に、果敢なアクションで、安心社会の実現に向けて、前進させていきます。
- すべての働く者をまもり、つなぐために、組織拡大・強化を最重点の取り組みと位置づけます。持続可能な連合運動に向けて、構成組織・地方連合会・連合本部が一体となり、あらゆる資源を組織拡大に集中させ、自ら掲げた組織拡大目標を必達すべく、総力を挙げて「組織拡大プラン 2030」の実現をめざします。
- 政策・制度の取り組みでは、少子高齢化・人口減少、所得格差の拡大などわが国の構造的な課題解決に向けた取り組みを進めます。働く者の最低基準である労働基準法制を堅持したうえで、集团的労使関係の強化や長時間労働の是正に向け、労働者保護の観点に立った法改正と実効性確保を求めます。また、持続可能で包摂的な社会保障制度などの構築、必要な安定財源の確保や所得再分配機能の強化など、課題と対策を整理し、税と社会保障の一体改革に向けた取り組みを進めます。
- 積極的な「人への投資」によって、中小企業や非正規雇用で働く者を含め、すべての働く仲間の賃金が継続的に上昇し経済・賃金・物価が安定的に上昇する新たなステージをしっかりと社会に定着させるべく、物価を上回る賃上げの流れを中長期的に継続することに加え、格差是正の大きなうねりを創り出していきます。
- 「ジェンダー主流化」を推進するとともに、固定的性別役割分担意識の払拭、働く現場のみならず、家族間や社会における慣習や慣行の見直しに向けて取り組みます。また、「労働組合における男女平等参画」「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」を目標とする「ジェンダー平等推進計画」フェーズ 2 の進捗を迅速に把握・共有し、構成組織・地方連合会の取り組み支援に努めます。
- 政策と運動の連動で「理解・共感・参加」の輪を拡大させることによる参加型運動を確立するとともに、労働者の関心の高い事項に対する連合の見解や政策などについて、タイムリーかつ分かりやすい発信を行います。
- 2026 年 1 月の中央会費制度移行期間の開始（第 1 ステップ）および第 2 ステップ（2027 年 1 月）への移行が円滑に進むよう、構成組織・地方連合会への情報提供

等に努めます。また、連合運動の持続可能性の観点などから、今後の財政基盤の検証を踏まえた対応をはかります。

- 持続可能な連合運動を支える人財を、地方連合会を含め安定的に確保し、継続的に育成するために、構成組織・地方連合会も参画したワーキング・グループのもと、議論・検討を深め、取り組みを進めます。



以 上